

赤谷プロジェクト近況報告

「ニッセイ緑の環境講座」で 赤谷プロジェクトの取組を講義



赤谷プロジェクトと森林環境教育について講義

1月21日（水）、ニッセイ緑の財団主催によるニッセイ緑の環境講座「森林環境教育を学ぶ」シリーズの第2回目が開催され、「生物多様性から見た森林環境教育」をテーマとして当センター所長と（財）日本自然保護協会保護プロジェクト部副部長が、一般の方々150名を対象に、赤谷プロジェクトの概要や赤谷プロジェクトにおける環境教育の取組等について、先般開催された「環境教育・関東ミーティング2008AKAYA」の結果などを交え講義を行いました。

質疑応答では、「環境保全や森林環境教育の取組にどうすれば行政側を巻き込んでいくことができるのか。」「活動していく上での資金面の手当はどうか。」などに大きな関心が集まりました。講義が終了した後も、個別に各地で活動している方々と交流することができ、今後の赤谷プロジェクトの活動の拡大につなげていきたいと考えています。調査研究を進めていきたいと考えています。

「モリゾー・キッコロ『森へ行こうよ!』」の撮影

「赤谷の森」も雪をまとい、冬景色を見せてくれることが多くなりました。そんな中、NHK教育番組「モリゾー・キッコロ『森へ行こうよ!』」の撮影が行われました。

この番組は以前にも紹介しましたが、子供達が平成17年に開催された愛知万博のキャラクターでもあるモリゾーとキッコロが様々な自然を観察、体験することを通じて、生きものと環境の関わり、人の暮らしとの関係について学んでいく環境教育番組です。

今回も地元小学生が数名参加し、雪の下や近くのコナラ林で越冬している生きものの調査などに取り組みました。

撮影された内容は、3月7日（土）に「春はまだかな？ 冬の生きもの探偵団」として放送される予定です。是非、冬の「赤谷の森」の様子を楽しんで頂ければと思います。

放送チャンネル NHK教育テレビ

放送時間 毎週土曜日 9時50分～10時5分

（再放送：毎週日曜日17時35分～17時50分）



雪を掘って、越冬中の生きものを調査

猛禽類モニタリングワーキングの開催

1月31日（土）、平成20年度第3回猛禽類モニタリングワーキングが開催されました。

その中で、イヌワシ・クマタカの繁殖成績やハンティング場所の調査報告、落葉期と展葉期における行動範囲の違い、来年度の調査体制等について話し合われました。

今後は、イヌワシ・クマタカの営巣地の保護、狩り場の特定・確保、餌となる動物が増えるような森づくりなどについて、引き続き基礎的データの収集を図りながら、より一層調査研究を進めていきたいと考えています。



山崎座長を交えてのワーキング

赤谷森林環境保全ふれあいセンター